

Rotary
District 2620

よいことの
ために
手をとりあおう

UNITE
FOR
GOOD

2025-26 年度 RI メッセージ
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ氏

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報



例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2025-26 年度

会長：鈴木寿幸 副会長：桑原 茂 幹事：加藤智之 副幹事：杉浦 聡

例 会 第 1618 回 移動例会/小杉苑

ソング：四つのテスト、たき火 ソングリーダー：鷺坂和也君

会 長 挨 拶

鈴木寿幸君



皆さんこんにちは、本日も藤枝南ロータリークラブの例会にご出席いただきありがとうございます。本日は、藤枝南ロータリークラブの会長に就任してからの私の感じている「変化」について、お話させていただきます。今年度、米山記念奨学生として「シンシン」さんをサポートしておりますので、出身国の歴史・文化・グルメ等、懇親会をかねた勉強会を開催し、美味しい料理を味わうことで、中華料理が大好きになりました。これは、内山さん、森竹さんの影響です。また、長期青少年交換学生の「ベンツェ」君のサポートは、青少年奉仕小委員会、中山委員長のスケジューリングとホストファミリーの家族ぐるみの協力でベンツェ君にも「良い変化」がおきているようです。先月から IGM の班単位で、休日の協力をお願いしたところ、先週は、小嶋さんたち 7 班で「浜名湖一周サイクリングと温泉＋うなぎツアー」を実行していただき感謝いたします。23 日には古川さんたちが「藤枝駅前 絆マルシエ参加＋FUJIDA MYFC ホーム最終サガン鳥栖戦観戦」が計画され、当クラブの皆さんの「スピード・団結・

実行力」を誇りに思います。会長として「今、私にできる奉仕は何か」を常にスピード感をもって考え、決断するように、私も変化が表れております。

また、藤枝南クラブ会長あてに、うれしいお知らせが、2025-26 年度国際ロータリー財団管理委員長より、届きましたのでご紹介いたします。藤枝南ロータリークラブ会長様、クラブ会員の皆様には多大なご支援をいただいております、厚く御礼申し上げます。昨年度、貴クラブの全会員が、「ロータリー財団年次基金に 100 米ドル以上」を寄付くださいました。このような寛大なご支援をお寄せいただいたクラブは、全ロータリークラブのうち 6 % のみでした。2024-25 年度、地域社会を支援するために 1,423 件のグローバル補助金、468 件の地区補助金、74 件の災害救援補助金を授与することができました。このような素晴らしい年度を実現できたのも、みなさまからの寄付のおかげです。皆様からの年次寄付に心より感謝いたします。皆さまのご支援は、「平和の推進、疾病との闘い、安全な水と衛生設備の提供、教育の支援、母子の保健改善、地域経済の発展、環境の保護」を通じて、地元と世界で持続可能な変化を生み出すというロータリーの取り組みを前進させる力となります「世界でよいこと」をするため皆さまのリーダーシップと惜しみない支援に、心より感謝いたします。とのメールがありました。12 月には、地区大会が伊東であります。2026-27 年度若林ガバナーの「次年度地区大会案内」も予定されておりますので、さやかに発表してまいります。最後に本日の例会が、ご出席の皆様の新たな発見や気づきの例会になることを願っております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
40／48 83.33%	44／48 91.66%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○数野君○川口君○中村君○中山君○松浦君
○望月君○森竹君○山田幸君

(1) メークアップ者

伊藤彰彦君(藤枝) 富澤静雄君(藤枝)

松浦正秋君(藤枝) 山田壽久君(藤枝)

山田幸保君(藤枝)

食事準備数	食事提供数	残	累計残
45	45	0	8

パーフェクト例会数: 😊😊😊😊😊😊😊😊😊😊

欠席連絡は、当日朝10時前までにお願いします

スマイルBOX

杉山茂範君

- ・漆畑青少年交換カウンセラーによる「ホストファミリー・サポート」に賛同し、スケジュールの厳しい中、早速対応していただきましたインフォームド・グループ7班、古川リーダー、小嶋サブリーダー、他メンバーに感謝して、スマイルさせていただきます。

鈴木寿幸君

・藤井次期ガバナー補佐、杉山さん、座安さん
ようこそおいでくださいました。次年度は
よろしくお願いします。 若林秀典君

若林秀典君

スマイル累計額 519,602円

ビジター

国際ロータリー第 2620 地区第 5 グループ

次期ガバナー補佐 藤井 一様

〃 事務局長 杉山政隆様

浜北伎部 RC 事務局員 座安真由美様

會員卓話



佐野博己君

皆様、こんにちは。
テーマにちなんだ
事はこれと言っ
てないですが自
身の仕事につい
てなら皆様にお
伝えして

少しでもお役に立てたらと思い卓話をさせていただきます。

私は建築資材の総合卸を事業の軸として藤枝市・島田市・焼津市の志太榛原地区を中心に静岡県下にて経営をさせていただいております。

「建材・建築」というと山田としさん・幸保さんの土木建材や竹田さんの住宅建材・杉浦さん古川さんなどの鉄筋建材など広い範囲で「建材」と使われるかと思います。

弊社は主に戸建て住宅を中心にマンションやアパート・非住宅（箱もの）などの様々な建築資材の販売をしています。

まずは建材屋が販売する、主にベニヤ（合板）についてです。

日本では1907年名古屋の浅野吉次郎が独自に開発したベニヤレースの実用化によって始まったとされています。原木を大根の桂剥きのように薄く剥いたものを乾燥させてそれに接着剤を塗り積み重ねて張り合わせます。この時それぞれの繊維方向を1枚ずつ直行させ奇数枚積み重ねます。

厚みとしては2. 3ミリの・2. 5ミリの・3ミリの・4ミリの・5. 5ミリの・9ミリの・12ミリの・15ミリの・18ミリなどもっと厚いものもあります。昨今の住宅の床下地には24ミリのや28ミリの合板が張られています。

長さ幅は3尺×6尺 (910₃×1820₃) 4
尺×8尺 (1220₃×2430₃)

因みに3尺×6尺はサブロクと言われサブロク18、これは（おはこ）十八番（最も得意な事、歌舞伎18番に由来していてカラオケなどでもいいですね、野球の選手もエースは18番！仏教の世界では阿弥陀さま弥陀の18願などともいわれます。詳しくは稲葉さんやしょうきょうさんへ）

合板の話に戻りますが、合板が無い時代には木材を無垢のまま使っていました。無垢にかわり日本のような高温多湿の環境では欠かせない材料として合板が開発され優れた特徴を生かして

今に至っています。

材質も様々です。シナ・カバ・せん・ブナ・ナラの広葉樹からカラマツエゾ松・赤松などの種類があります。合板が作られた当初は外材のラワン材（広葉樹）が主流でしたがラワン材から米松などの針葉樹材に変わり、現在は杉と桧のハイブリッド合板が主流となっております。

どこに使われているのか、住宅で言いますと屋根材の下地、床材の下地、主には下地材として使われますが壁や天井などの見える化粧材としても活用する事があります。飲食店さんなども茶色やクリア色など色を載せて化粧材として使うこともあります。

合板のイメージですが板を合わせて作っていますので接着剤が使われております。この接着剤の種類により特類（フェノール樹脂接着剤など）・1類－タイプ1（メラミン樹脂接着剤など）・2類－タイプ2（ユリア樹脂接着剤など）－3類（増量ユリア樹脂接着剤など）様々あります。

3類は家具などに使われています。特類1類2類は私たちの建築で耐力壁や先程ご紹介した下地材等に使われております。

また、合板の中にはランバーコア合板というものがあります。芯材に木を使用した合板で品ランバーやラワンランバーなど重さが軽く家具やドアなどに使われております。

さて、建材屋が販売するアイテムの中にはプラスターボード（石膏ボード）と言われる物があります。この小杉苑さんの天井や壁にも沢山使われております。主にクロスの下地材として使われる物です。

石膏の建築資材としての利用の歴史は紀元前7000年の古代エジプトまでさかのぼります。クフ王のピラミッドから王の石棺にアラバスター（結晶石膏）が使われていたそうです。さらにクレオパトラがワインを飲むのに使った杯は天然の石膏から掘り出されたものと言われています。石膏ボードは主に紙と石膏からできています。新聞などの古紙から再生利用です。

昭和30年代から60年にかけてアスベスト入りの石膏が製造されていましたが昭和61年に製造が禁止されました。アスベスト入りは物としては強いですが人体には良くないと言う事で現在は仕様が禁止されております。

この防火性の高い燃えない建材（石膏ボード）を使う事で大火事などを防ぐことが出来たり、騒音を軽減させたり、壁紙を貼る最適なものとして現

在は建物内に使われる料としてはかなり大きいと思います。

この石膏ボードも色んな種類があります。

主にはクロス下地材として使用されますが化粧としても使用されるものもあります。

厚みが9.5ミリの12.5ミリの15ミリのとあります。

大きさも合板と同じく3尺×6尺や3尺×8尺などあり、サイズのオーダーも出来ます。名古屋工場の話！

重さですがよく使われる12.5ミリの3尺×6尺で1枚14.1Kg、8尺サイズは18.8Kgと非常に重たい建材となりますが運び屋さんなどは一度に8枚～10枚持つ力持ちもいます。

他、色んな建材がありますがお時間となりますので締めさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。



小林正敏君

趣味とか特技に付いて特別皆さんにお話できることなど持ち合わせていません。敢えてお話できるとすれば80余年の人生でサッカー

というスポーツが私の人生に大きなインパクトを与えて来たことと思います。

サッカーの街藤枝と言われているのですが私の小学生時代は野球が流行りのスポーツでサッカー二の次くらいだったように思います。

昭和32年の第12回の国民体育大会が静岡で開催され藤枝が主会場になったことで藤枝市内では一躍サッカー人気が盛り上がりました。

たまたま静岡の中学へ進学したことでサッカーが身近なスポーツとなりました。当時静岡市内にはサッカー部のある学校は4校しか無く西部からの通学生中心のサッカー部は常勝軍団でした。体育の先生の勧めで入部し思い出多い中学生時代となりました。当時の仲間とは70年を超す付き合いが続いています。同期にはベルリンオリンピックでスウェーデンを破ったときのメンバーを叔父に持つ松永、佐野両君もおりました。

高校進学時には中学時代サッカー経験者招集され当時の長池監督から大学進学は保証するからサッカー部入れとのお誘いがあったことを覚えています。

クラスにはメキシコオリンピックの銅メダリスト山口君がおりました。正月の選手権決勝戦にはクラスの友人と大学入試が目前にもかかわらず準急電車乗り継いで西宮まで応援に出かけました。確か浦和市立に1対0で勝ち初優勝しまし

た。そんなこともあり長池監督に大学進学についての話をしたことが思い出されます。

大学に入っても同好会での活動がメインでサッカーは継続していました。中学時代の先輩が富士電機におり、大学在学中から富士電機本社のサッカー部の一員として足掛け5年ほど頑張りました。富士電機は毎年工場単位の総合体育大会があり、松本、四日市、日野、川崎工場での大会に一社員になりすまして出場しました。富士電機時代の最後の頃はもの好きでしたが藤枝から東京での試合に出かけたものでした。香港まで遠征したことは良い思い出となっています。

その間お世話になった東京の印刷会社でもサッカーに興味を持つものから是非サッカー部を作って欲しいとの願いもあり当時狭山に新工場が竣工し適当な広場あるということでよく合宿した覚えがあります。

サッカー漬けの青春時代となりました。

藤枝に戻ってからも社内にチーム作ったり、クラブチームに在籍したりと楽しい思い出ばかりとなっています。

その後青年会議所在籍時代には 4JC 大会の企画に参画したりして今思い起こすと本当に楽しかった思い出ばかり残っています。

現在の日本におけるサッカーの隆盛振りをみると隔世の感仕切りです。サッカーを通じた交流が今なお継続出来ていることは私にとって大きな財産となっています。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
12/5(金) 第 1619 回	クラブ年次総会	理事会
12/12(金) 第 1620 回	ガバナー補佐訪問	小杉苑
12/19(金) 第 1621 回	早朝例会	
12/26(金) 第 1622 回	夜間例会	小杉苑



今週の一言

小嶋英公君



みなさんこんにちは。以前にもお話をさせていただいたと思うのですが、35 年以上前の話ですが、私が修業時代、愛知県の酒やビ

ックの本社の社長さん家で下宿させていただき、周りから丁稚さんと呼ばれていた時代がありまして。

朝は 5 時から敷地内にあるお寺で座禅、朝ご飯食べて、誰よりも早く出社し、名古屋の栄地区あたりへお酒の配達をし、夜戻ったら、社長の書斎で本読んだり、話を聞いたり、今思うと、あの社長の時間をいただいていると思うと大変贅沢な時間だったなと思います、当時はそんな事、微塵も思っていないのが若さであります...

そんな社長からの話で好きな言葉があります。

「難があるから有難い、難のない人生など無難な人生だ」 ただこういうと長くなるので、社長はこう言い変えて「苦はお友達、楽は敵だ！」とよく仰っておりました、何でも難でもやってみなさい、きっとそれは自分の身になる、為になる、やがてそれは自身の店の在り方や会社につながり、きっと社会にも広がるはずだよ。

と当時はさほどではなかったのですが、自分で店を開いたときに、社長からお話いただいたときに、やはりこの言葉でした、その時はかなり響いてですね、俺には足りない事が多い、難でも、何でもやってみようと、何でも足を突っ込み、おかげで今の自分があるんだ、とこれまで各種、青年団体は一通り、ロータリーでも来年は地区の副幹事を仰せつかりと、言葉どおり、大変有難い状況になっております。

そして来年酒やビック藤枝店は 30 周年を迎えます、それもこの言葉があったからだと思っております。

(担当/秋谷貴也君)